

動物実験に関する自己点検・評価報告書

甲南大学

2026 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☒ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・甲南大学動物実験取扱内規
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 研究機関の長（本学の場合は学長）の責務、人と動物の共通感染症にかかる知識の修得等について、記載がされていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 今後、規程改正を行う予定である。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・甲南大学動物実験取扱内規 ・甲南大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 委員会の活動状況に記載しているとおり適切に運営している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
--

☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 甲南大学動物実験適正化標準操作手順 standard operating procedure (SOP) ・ 動物実験委員会決裁文書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 実施体制に対して、経験豊富な委員長の下、助言・指導を必ず行うスムーズな運用を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 甲南大学動物実験適正化標準操作手順 standard operating procedure (sop) のうち、「組換え動物取り扱いマニュアル」及び「感染動物取り扱いマニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 特になし
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ■ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料

・飼養保管施設承認申請書 ・実験報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 具体的な地震・火災の緊急時の対応について、準備を行っているところである。
4) 改善の方針、達成予定時期 2026 年度末までに予定している。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

飼養施設の老朽化、飼育環境整備に関する改善を検討している。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会決裁文書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） チェックリストの「動物実験委員会が動物実験の実施結果に対する助言を機関の長にしているか」については、動物実験管理者に対して適正化主任から前年度実施計画に対する助言も含めたチェックを提出前に行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験実施報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 「実験結果報告書」と「動物実験（終了・中止）報告書」を毎年収集し、事務組織と一体になって正確な把握に努めている。
4) 改善の方針、達成予定時期 SOP は 2026 年度改訂予定である。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 特になし
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・甲南大学動物実験取扱内規 ・甲南大学動物実験適正化標準操作手順 standard operating procedure (SOP)
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） SPF に対応した施設への改修を計画しているが、予算の都合で実現できていない。ただし、2026 年度からは、ゲージ用フィルターキャップが導入された。
4) 改善の方針、達成予定時期 2026 年度以降の予算化を目指す。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
--

☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・甲南大学動物実験適正化標準操作手順 standard operating prodeure(SOP)
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 温度・湿度の環境保全記録が不十分である。
4) 改善の方針、達成予定時期 温度記録等の確認を頻繁に行うように努める。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・教育訓練実施記録 ・受講者名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 特になし
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・甲南大学ホームページ ・動物実験委員会 報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検の実施が遅れ気味である。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験委員会としての体制を整え必要事項の把握に努める。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし
